

競技上の注意事項

1 競技規則について

本大会は、全国障害者スポーツ大会競技規則および本大会競技注意事項を適用する。

2 招集について(招集とは競技に参加する選手が招集時刻内に招集所に行き、点呼を受けることである)

- ① 招集場所は100mスタートライン横の「第4ゲート」とする。
- ② 招集時刻:競技日程記載の**招集時刻を厳守すること**。
- ③ 招集時刻に他の種目に出場している場合や競技時刻が重なる場合は、予め「**二種目同時出場届**」を提出し、代理もしくは本人が競技役員(審判員または競技者係)に申し出ること。
- ④ **招集時刻に遅れた者は、いかなる理由であっても棄権とみなす。**

(区分27の選手に関しては、引率者の責任において点呼を行うこと)

※点呼とは、競技者係にナンバーと名前を呼ばれ、その場に居るという確認を受けることであり、点呼後は競技者係の指示に従うこと。

3 競技場内への立入りについて

出場選手以外の立入りは禁止する。

選手で介助が必要な場合は、**介助者受付(招集所横)**で申告し、ビブスを着用して場内に入ること。その際、携帯電話、デジカメおよびバッグ類の**持込みは禁止**とする(衣類運搬のための介助申告は受け付けない)。

4 競技後の解散について

施設および学校からの参加選手に関しては、引率者が**解散所(第1ゲート脇)**に迎えにくること。

5 練習について

(公式練習)

- ① 審判の指示で練習を行うこと(指示がない場合は練習を禁止する)。
- ② スラロームの練習については、招集後スタートまでの時間を利用して行う(審判の指示に従うこと)。

(ウォーミングアップ)

- ① ウォーミングアップ会場は「スワンフィールド」とする。 **※屋内練習場は利用できません。**
1～3レーンは車椅子、4～6レーンは立位の周回、7～8レーンはスタート練習とし、レーンの横断にはくれぐれも注意すること。また、練習会場での**投てき練習、跳躍練習は不可**とする。

※スワンフィールド利用時間は**9時00分～13時30分**

6 競技について

- ① 全種目風力は計測しない。
- ② トラック競技において、1度でも不正スタートをした場合は**即失格**となるため、十分注意すること。
- ③ 投てき競技における試技は、各種目とも3投連続とする。
- ④ スラロームは1名ずつによるタイムレースとする。
- ⑤ 車椅子の100m以上の競技においては、**必ずヘルメット**を着用すること。
- ⑥ 障害区分24の競技者が使用するアイマスクまたはアイシェードおよびガイドロープは、選手招集の際に検査する。

- ⑦リレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出する。提出時間を過ぎた場合は出場できないので十分に注意すること。
- ⑧1500m 走において、競技開始から**10分00秒**を超えた時点で**ただちに競技を中止する**。
- ⑨同時刻に他の種目に出場する競技者は、競技中の審判員に申し出て競技場所を離れること。
無断で競技場所を離れると失格となる場合があるので注意すること。
- ⑩介助による競技中の助力行為は認められない。助力を受けた選手は失格とする。
※介助者は、いかなる指導・助言もしてはならない。ただし、競技の準備や待機などを促す指示は助力に当たらないものとする。例:「服を着ましょう」「スタートラインに行きましょう」など。
(全国障害者スポーツ大会 競技規則集より引用)
- ⑪ナンバーカード・腰ゼッケン(シールタイプ)は配布されたものを使用すること。つける場所は次のとおり
【立位競技者】 ナンバーカード:胸部と背部 腰ゼッケン:右臀部やや後方
【車椅子競技者】 ナンバーカード:胸部と車椅子背面 腰ゼッケン:右脚前面
ナンバーカードは選手受付で配布。腰ゼッケンは招集所にて競技毎に配布。
※競技終了後は各自ナンバーカード、腰ゼッケンを持ち帰ること。
- ⑫日本陸上競技連盟競技規則(第143条)に記載されている**シューズの靴底の厚さについての規定は本大会においては適用しない。(ガイドランナー含む)**
※参考 800m未満のトラック種目 20mm 800m以上のトラック種目 25mm フィールド種目 20mm

7 その他

- ①プログラム記載内容に誤りがある場合は、9時30分までに選手受付に申し出ること。
- ②競技中の事故については応急処置のみとし、その他については参加者の責任によるものとする。

8 会場見取り図

